

## は し が き

国立教育政策研究所では、所の研究成果を教育現場をはじめとして広く普及し、教育指導法の改善や教員の資質向上などに役立てていただくという趣旨により、平成2年より教育研究公開シンポジウムを開催している。

今回の第26回教育研究公開シンポジウムは、「キャリア教育への招待」というテーマにより、東京で開催した。

文部科学省は、キャリア教育の推進に関する総合的研究協力者会議を開催し、平成16年に「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために」と題した報告書を公表した。内閣府は、平成19年5月に「キャリア教育等推進プラン」を策定している。

国立教育政策研究所においては、平成15年度から17年度にかけて「生涯にわたるキャリア発達の形成過程に関する総合的研究」を実施してきた。

このたびのシンポジウムは、当研究所のキャリア教育に関する研究成果を報告すると同時に、キャリア教育の実践的な事例を紹介しながら、キャリア教育に関する議論を一層深めるためのパネルディスカッションを実施したものである。

当日は、関東地区の教育関係者を中心に約100名が参加した。

本報告書は、このシンポジウムにおける報告及び討論の内容をまとめたものである。学校での指導などに生かしていただければ幸いである。

平成20年3月

国立教育政策研究所長  
近藤信司

# 目次

はしがき

【ご挨拶】	7
近藤信司(国立教育政策研究所長)	
【第一部】キャリア教育の現状と課題	11
(1)初等中等教育におけるキャリア教育の現状と課題	12
宮下和己(国立教育政策研究所生徒指導研究センター 総括研究官)	
(2)大学のキャリア教育の現状と課題	19
桐村晋次(法政大学キャリアデザイン学部 教授)	
(3)児童・生徒・大学生のキャリア意識について	32
立田慶裕(国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官)	
(4)家庭におけるキャリア教育の可能性	41
笹井宏益(国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官)	
【第二部】新たなキャリア教育の実践に向けて	49
(1)地域連携学校教育による子どもの起業家教育	50
関 隆晴(大阪教育大学教職教育研究開発センター 教授)	
(2)学びから始めるキャリア教育～プロジェクト・ベース学習(PBL)の適用～	59
上杉賢士(千葉大学大学院教育学研究科 教授)	
(3)産業社会からの要請の変化と対応	69
小杉礼子(独立行政法人 労働政策研究・研修機構 研究員)	
【第三部】パネルディスカッション	79
コーディネーター 山田兼尚(国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 前部長)	
パネリスト	
関 隆晴	
上杉賢士	
小杉礼子	
宮下和己	
立田慶裕	

プログラム

第26回

【教育研究公開シンポジウム】

キャリア教育への招待